

厳しい状況の中、黒字を維持し、安定した運営を行っています

健康保険組合連合会が発表した「令和3年度健康保険組合予算早期集計」によると、全国1387組合の経常収支差引額は5098億円の赤字予算となっており、赤字組合は1080組合で全体の約80%を占めています。また、保険料率を引き上げた組合は115組合となりました。団塊の世代が75歳に到達し始める2022年以降、高齢者医療費の増加に伴い、医療保険制度全体の財政悪化が急速に進むと見込まれています。

そのような中、一定の所得がある75歳以上の医療費窓口負担を、2割に引き上げる医療制度改革関連法が成立し、令和4年度後半から適用されることとなりました。少子高齢化が進む中、現役世代の負担を軽減するための構造改革を進めることが急務となっています。

皆さまにおかれましては、日ごろから健康づくりに励まれ、ジェネリック医薬品を積極的に利用するなど、医療費の削減にご協力をお願いします。

こうした状況の中、当健康保険組合の令和2年度決算がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

基礎数値

(令和3年3月末現在)

被保険者数	男	1,722人
	女	853人
	合計	2,575人
平均標準報酬月額	434,195円	
総標準賞与額 (年間合計)	3,990,159千円	
被扶養者数	2,424人	

一般勘定(健康保険)

収入

保険料収入は減少に

収入面では、被保険者数と総標準賞与額が減少したため、保険料収入は前年度より1億1,165万円の減収となりました。また、繰越金より1億円を繰り入れ、収入総額は16億3,838万円となりました。

支出

保険給付費の減少で、一時的に負担減に

医療費として支払われる保険給付費は、前年度より4,648万円減少の7億512万円となりました。

また、組合財政を圧迫する主要因ともいえる納付金については、今年度は前期高齢者納付金の精算の揺り戻しがあり、前年度に比べて3,129万円の大幅な増加となりました。保健事業費につきましては、疾病予防や健康増進のための事業を実施しました。支出総額は13億4,837万円となりました。

結果、令和2年度の収支差引額は2億9,001万円の黒字に、経常収支差引額においても1億7,707万円の黒字で終わることができました。

収入

単位：千円

保険料収入	1,495,695
国庫負担金収入・その他	374
調整保険料収入	24,336
繰越金	100,000
国庫補助金収入	3,622
財政調整事業交付金	7,887
雑収入	6,463
収入総額	1,638,377
経常収入	1,501,171

支出

単位：千円

事務費	64,965
保険給付費	705,124
法定給付費	692,717
付加給付費	12,407
納付金	504,764
前期高齢者納付金	133,277
後期高齢者支援金	371,471
病床転換支援金	2
退職者給付拠出金	14
保健事業費	48,538
財政調整事業拠出金	24,267
連合会費	708
その他	0
支出総額	1,348,366
経常支出	1,324,099

単位：千円

一般勘定収支差引額	290,011
経常収支差引額	177,072

一般勘定(健康保険)



介護勘定(介護保険)

各市区町村が保険者として運営している介護保険の保険料徴収は、健康保険組合が代行して行っています。組合に加入する40歳以上64歳までの方々に対する介護保険料として徴収し、各市町村へ納めています。介護保険の第2号被保険者数は、2,261人でした（被扶養者を含む）。

令和2年度は介護保険収入が1億6,009万円、介護保険納付金が2億1,469万円となりました。繰越金より1,575万円を補填し、別途4,500万円を繰り入れました。

収入 単位：千円

介護保険収入	160,090
繰越金	15,750
繰入金	45,000
国庫補助金受入	584
雑収入	10
合計	221,434

支出 単位：千円

介護納付金	214,689
合計	214,689
介護収支差引額	6,745

